



医療費助成制度等の所得制限を撤廃すべき/職員の働き方改革
中江美和議員
(フォーラム小平)

義務教育就学児医療費助成制度等の所得制限を撤廃すべき

質問 ①小学3年生までの所得制限撤廃に対し、不公平感の是正を求める声があるが見解は。

②所得制限の撤廃に必要な予算の見込みは。
市長 ①都からは、子どもの医療費助成は福祉施策であるため所得制限を設けるとの回答だった。市としては、小学4年生以上は応負担をお願いしつつ、引き続き所得制限撤廃の対象年齢拡大に向け財源確保に努める。

②概算だが小学校高学年で約3千7百万円、中学生で約3千5百万円、高校生で約3千7百



新学期に備え通学路の安全対策を/アフターコロナの介護予防
川里富美議員
(フォーラム小平)

新学期に備え通学路の安全対策を

質問 ①小平第十一小学校への通学で、花小金井2丁目の児童が使う野中東通りの安全対策は。

②花小金井駅北有料自転車駐車場周辺の道路は、朝は多くの自転車が行き交い危険だが、カーブミラーを設置できないか。
市長 ①注意喚起看板の設置など様々な安全対策を実施した。現時点で新たな対策の予定はないが、再度現地を確認し必要な対策の可能性を検討していく。

②設置基準に適合せず設置できないため、令和4年5月に路面標示シートを設置した。今後



市の農業を支えるために/有機フッ素化合物の市民への影響等
さとう悦子議員
(生活者ネットワーク)

小平市の農業を支えるために

質問 ①特定生産緑地への移行の状況は。

②みどりの食料システム法推進のための取組は。
③生産緑地の貸借が可能になり、農地と農業者等とのマッチングの仕組みが必要だが現状は。
市長 ①対象面積の97%を指定し当初目標の80%を超えている。

②農家への調査で、みどりの食料システム戦略を知らない人が82.4%であった。周知のための講習会の実施などしていく。

③3年度は農家への意向調査を行った。貸借実績は順調に推



市内農業との今後の連携/鈴木町地域の諸課題について
岡田しんぺい議員
(フォーラム小平)

市内農業との今後の連携

質問 ①物価高騰を受け、国等と連携して農業用有機肥料を作る体制の整備が今後の農業に必要と考えるが、見解は。

②エタマメウィーク等、地産地消を促進する市内飲食事業者との連携について今後の展開は。
市長 ①市は有機肥料等の購入費補助を行っており、新たな生産体制の整備には課題もあることから現時点では考えていない。

②エタマメウィークでは参加者から好意的意見が多くあった。今後も事業者と連携し地産地消を推進する取組を実施していく。



ワクチン健康被害・後遺症者を救済/事業者へDX導入支援を
伊藤 央議員
(一人会派の会)

新型コロナウイルスワクチンの健康被害者や後遺症者を救済

質問 ①ワクチン接種後の市内の副反応疑い報告数は。

②健康被害救済制度申請数は。
③健康被害救済制度の申請希望者をサポートすべきでは。
④新型コロナウイルス感染症の後遺症者、ワクチン接種後の健康被害者、接種後感染の後遺症者に対し回復のためのプログラムを提供すべきでは。

市長 ①2月末で50件である。②2月末で16件である。③状況に応じた寄り添った対応を行っている。④問合せがあった際、まずは



高血圧対策について/献血の効果的な普及啓発について
鈴木洋一議員
(政和会)

新しい日常における高血圧対策について

質問 ①令和3年度の保健事業概要における特定健康診査受診率は45.8%だが、市の見解は。

②公共施設利用者に、血圧への関心が深まる施策が必要では。
市長 ①第3期国民健康保険特定健康診査等実施計画の目標値には達していないため、受診率の向上は課題である。受診勧奨通知の工夫や集団健診の実施等で受診率の向上に努めていく。

②出張健康教室での血圧測定やイベント等で生活習慣病予防のパネル掲示等を行っている。引き続き効果的な施策を研究する。



四小と十小の通学エリアの延べ/床面積75%削減/小平駅前整備
橋本久雄議員
(一人会派の会)

小平第四・第十小学校の通学エリアの延べ床面積が75%削減

質問 ①地区交流センターへの公民館機能の移転を明言しては。

②地区交流センターの運営は。
③公共施設の使用料等の見直しは、公募委員を含めた検討委員会を検討すべきでは。
④地区交流センターごとの延べ床面積削減率は。

市長 ①公民館が担う機能の小学校への複合化は公共施設マネジメント推進計画に示している。②仮称十一小地区交流センターは、直営を想定している。③平成21年度の検討委員会報告を基に進めており予定はない。



市内農業との今後の連携/鈴木町地域の諸課題について
岡田しんぺい議員
(フォーラム小平)

④学校区ごとの算出はしていないが、十一小地区交流センターと同様の施設を14館設置した場合、約5割削減の想定である。

小平駅前南北地域の一体的な整備を考えなかったのか

質問 ①北口の再開発事業は、賛成する地権者を3分の2以上にするめどはあるのか。
②計画の見直しが必要では。

市長 ①前向きな意見等も聞いているため、早期に合意形成される可能性も十分にある。②現段階で見直す考えはない。

【掲載分以外の質問項目】
○500平方メートル以上の39の商業施設に市民サービスコーナー設置を



横断歩道設置を望む声がある鈴木街道(鈴木町一丁目)